

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	芸術:音楽Ⅱ(選択)	単位数 2 単位	履修年次 2 年次
目標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を育成する。		
使用教材	教科書「教育芸術社 MOUSA2」		
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)
	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景等との関わり、及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。	個性豊かに音楽表現を創意工夫したり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができている。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしようとしている。
評価方法	評価の観点・評価規準をふまえ、普段の授業態度(課題への取り組み・提出物等)、実技試験、ペーパーテスト等により総合的に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	【歌唱】 ・基本的な発声方法練習 ・イタリア語の歌 ・教科書記載の斉唱曲 【楽典】 ・1年次の復習 ・音程(2度、3度、6度、7度)	・イタリア語の歌を原語のまま歌うことをとおして、発音や日本語とは異なるイントネーションを意識し、歌唱に生かす力を身に付ける。 ・音部記号や音符と休符、楽語、反復記号、音名について理解する。また、音程の学習への導入として、音符に変化記号がついた際の鍵盤の動き方について理解する。 ・音程の概念の理解や度数の教え方と種類について理解する。	
2	【歌唱】 ・基本的な発声方法練習 ・合唱曲 ・日本歌曲 ・教科書記載の斉唱曲 【楽典】 ・音程(4度、5度) ・音階と調(長音階)	・各声部ごとにパート練習を行い、その後合わせて曲を仕上げることをとおして、他のパートを聴き、調和させ美しいハーモニーを響かせる力を身に付ける。また、みんなで1つの曲を仕上げる喜びを味わう。 ・我が国で長く歌われ親しまれてきた歌に触れることで、日本の自然や四季、文化や日本語のもつ美しさを味わうとともに、我が国の音楽文化を受け継いでいく意志を持つ。 ・長音階の音階の規則やその書き方について理解し、その音階の調が何であるか、日本語、ドイツ語、英語それぞれで理解する。	
3	【歌唱】 ・基本的な発声方法練習 ・フランス語の歌 ・オペラ、ミュージカルの曲より ・教科書記載の斉唱曲 【鑑賞】 ・オペラ、ミュージカルの鑑賞 【楽典】 ・音階と調(長音階)	・フランス語の歌を原語のまま歌うことをとおして、発音や日本語とは異なるイントネーションについて理解する。 ・オペラ、ミュージカルの鑑賞を行い、舞台音楽について理解する。また、そこで用いられている曲の歌唱を行い、より深くオペラ、ミュージカルを理解する。 ・長音階の音階の規則やその書き方、またその音階の調が何であるか、日本語、ドイツ語、英語それぞれで理解する。	
学習上の留意点	・音楽Ⅰの履修が必要となる。 ・教科書を使用して、総合的に音楽について学習する。何事にも一生懸命、取り組む。		

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	芸術:実技音楽(選択)		単位数 2 単位	履修年次 3 年次
目標	鍵盤楽器や吹奏楽器による音楽表現に必要な器楽の知識や発展的な演奏技術を身に付け、個性豊かに表現したり深く味わったりする資質・能力を育成する。			
使用教材	プリント教材			
評価の観点・評価規準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)	
	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景等との関わり、及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。	表現意図をもって個性豊かに音楽表現を創意工夫したり、音楽を形づくっている要素を踏まえて音楽を評価しながら、そのよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができる。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしようとしている。	
評価方法	評価の観点・評価規準をふまえ、普段の授業態度(課題への取り組み・提出物等)、実技試験、ペーパーテスト等により総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤楽器や吹奏楽器の演奏法や読譜力などの発展的なソルフェージュ ・鍵盤楽器や吹奏楽器によるアンサンブル ・個人実技・グループ実技のレッスン 		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を理解し表現するための練習をとおして、楽器演奏のための知識や発展的な演奏技術を身に付ける。 ・鍵盤楽器や吹奏楽器を使ったアンサンブルを行い、知識や発展的な演奏技術を身に付ける。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤楽器や吹奏楽器によるアンサンブル ・個人実技・グループ実技のレッスン ・卒業演奏の準備 		<ul style="list-style-type: none"> ・実技レベルに応じた練習をとおして、個人およびグループの知識や発展的な演奏技術を高める。 ・アンサンブルによって、演奏者全員で楽曲を完成させる喜びや楽しさ、個人だけでは表現できない音楽の奥深さや可能性を理解する。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期に引き続き、卒業演奏の準備 ・卒業演奏と鑑賞、および振り返り 		<ul style="list-style-type: none"> ・3学期に行われる卒業演奏において、個性豊かな発表ができるよう、表現意図をもって創意工夫を行いながら知識や発展的な演奏技術を高める。 ・卒業演奏の自己評価・相互評価を行って自己の音楽表現を振り返り、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしようとする態度を身に付ける。 	
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・じっくりと楽器演奏に取り組むことができる講座である。 ・年度末には卒業演奏を行う。 			